

2025年1月31日

たてくろジオパーク だより 第75号



発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

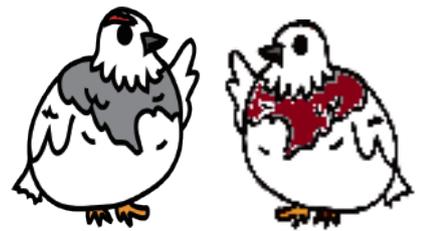
MAIL: info@tatekuro.jp

HP: <https://tatekuro.jp/>



<https://facebook.com/tatekuro>

2025年 本年もよろしくお願いたします！



昨年中は、協会の活動にご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。本年も変わらぬご支援をお願いいたします。「みんなで作るジオパーク」という初心を改めて確認し、地域に根差した新しいジオパーク活動ができるようにと願っております。

立山黒部ジオパークが、日本ジオパークに再認定されました！

2025年1月27日に開催されました日本ジオパーク委員会において、立山黒部ジオパークを日本ジオパークとして再認定することが決定されました。

立山黒部ジオパークは、昨年11月23日から25日にかけて再認定審査のための現地調査が行われました。この調査結果を受けて、日本ジオパーク委員会において審議され、結果が公表されました。現地調査においては、立山黒部ジオパークの活動に携わっていただいている多くの方々と調査員との面談により、前回の指摘課題に対して的確な対応をしていると認識され、その活動ぶりについて高く評価されました。このことが日本ジオパーク委員会の審議においても評価されたものと受け止めています。その一方で今回指摘された課題もありますので、これを真摯に受け止め、ジオパーク活動の更なる質の向上に向けて努めて参る所存です。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



■新規ジオガイド(ステージⅠ)養成講座の受講者を募集します!

立山黒部ジオパークには、4000mの高低差に代表される珍しい地形地質をはじめ、それらが育んだ独特の生態系や人々の文化が多数存在します。立山黒部ジオパークでは、これらの価値ある遺産を保全しながら、教育や観光に活用する活動を行っています。この活動に協力してもらえる新たなジオガイドの養成を今春より開始します。

ジオガイドになって、立山黒部ジオパークの良さをいろんな人に伝えてみませんか?皆様のご応募お待ちしております。

詳細な情報は立山黒部ジオパーク協会のHPをご覧ください。

<https://tatekuro.jp/>

開催日	内容	講師	会場・行先
⑪ 3/15(土)	開講式 ジオパーク総論 インタプリテーション リスクマネジメント	立山黒部ジオパーク協会 金沢大学 株式会社 ON-WIPPS	富山県教育文化会館 501号室
⑫ 4/12(土)	普通救命講習 現地学習/まち歩きツアー	富山市消防局 富山大学	タワー111 会議室2
⑬ 4/20(日)	現地学習/黒部ツアーⅠ	魚津埋没林博物館 黒部市吉田科学館 黒部市	入善 黒部
⑭ 5/11(日)	現地学習/黒部ツアーⅡ	魚津埋没林博物館 魚津水族館	魚津 滑川 上市
⑮ 5/25(日)	座学講座/黒部ツアー	魚津埋没林博物館 黒部市吉田科学館	魚津埋没林博物館
⑯ 6/1(日)	現地学習/立山ツアーⅠ	立山カルデラ砂防博物館	称名滝から下流
⑰ 7/6(日)	座学講座/立山ツアー	立山カルデラ砂防博物館	立山カルデラ砂防博物館
⑱ 7/26(土)	座学講座/地球科学	立山黒部ジオパーク協会	富山県教育文化会館 501号室
⑲ 9/6(土)	現地学習/立山ツアーⅡ	立山カルデラ砂防博物館	室堂 弥陀ヶ原
⑳ 9/28(日)	実技検定	立山黒部ジオパーク協会 立山カルデラ砂防博物館	タワー111 会議室2

★拠点施設のイベント等のお知らせ

立山カルデラ砂防博物館

収蔵品展「立山のたからもの」

2025年2月8日(土)～3月16日(日) 9:30～16:00



立山カルデラ内の火口湖、新湯では日本一美しいといわれたオパール的一种である希少な鉱物「玉滴石」が産出。この玉滴石をはじめ、立山ケーブルカー沿いに見られる材木石など博物館が収蔵している珍しい鉱物や岩石を展示します。収蔵品展の観覧は無料なので、この機会にぜひでかけてみましょう。

休館日は月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)。2月28日まで冬期短縮営業。3月からは通常営業 9:30～17:00(入館は16:30まで)

富山県立山博物館

冬のミニ公開展 「立山曼荼羅に描かれたヘビ!?!」

2025年1月7日(火)～3月30日(日)

富山県[立山博物館]において、冬のミニ公開展「立山曼荼羅に描かれたヘビ!?!」を開催します。立山曼荼羅には、令和7年の干支である「巳」が描かれています。冬のミニ公開展ではヘビが描かれている「立山曼荼羅」佐伯家本(個人蔵)と「立山曼荼羅」吉祥坊本(当館蔵、国指定重要有形民俗文化財)の2点を展示します。

展示する立山曼荼羅には、ヘビ以外の干支もいくつか描かれています。どこに干支があるかを探しながら、じっくりと立山曼荼羅をご鑑賞ください。

富山県「立山博物館」冬のミニ公開展

令和七年の干支「巳」を探せ!

立山曼荼羅に描かれたヘビ!?!

立山曼荼羅には、令和七年の干支「巳」が描かれています。

今回の冬のミニ公開展は、「立山曼荼羅」の坊本(個人蔵、国指定重要有形民俗文化財)と佐伯家本(個人蔵)を展示します。ぜひ、どこに描かれているのかを探してみてください。

会期 令和七年一月七日(火)～三月三〇日(日)

会場 立山博物館 展示館 第三展示室

開館時間 午前九時～午後五時 ※最終入館は午後四時

休館日 毎週月曜日(祝日を除く)、説明会開催日

入館料 一般100円(団体100円) 小学生以下、70歳以上無料

富山県立山博物館 〒930-1400 立山町伊勢堂93-1/問い合わせ 076-481-1216
富山県立山博物館「千景」観より徒歩・約28m

富山市科学博物館



第32回「私の身近な自然展」

富山市内の小学生が、身近な自然から得た感動を絵と文で表現した作品展です。

と き 2024年12月21日(土)～2025年2月16日(日)

場 所 2階特別展示室

その他 観覧料のみ必要(高校生以下無料)



県ナチュラリスト協会写真展

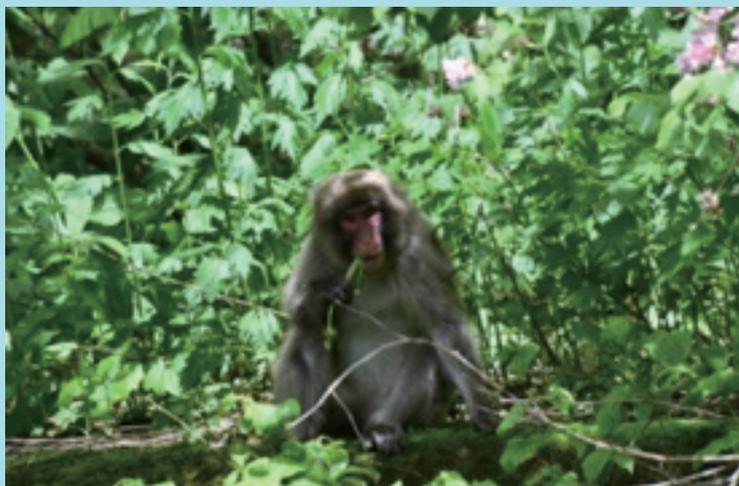
富山県ナチュラリスト協会の会員が撮影した自然に関する写真を展示します。

と き 2025年1月25日(土)～2月11日(火)

場 所 2階ロビー

対 象 入館者 その他 観覧料必要、申込不要

魚津埋没林博物館



魚津ナチュラルギャラリー 25

きれい、ふしぎ、おもしろい！

学芸員が調査の中で出会った魚津の自然をこだわりの視点で紹介！

と き 2025年1月2日(木)～4月30日(水)

場 所 テーマ館3階企画展示室



石井洋子写真展「極限の”南”」

南極地域観測隊員で防災士の石井洋子氏の写真展
南極の風景や蜃気楼から南三陸の自然まで
大気につながっている地球がみせるさまざまな表情を
写真で紹介します。

と き 2025年1月2日(木)～2月26日(水)

場 所 無料エリア



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう！

気候変動に対して、その緩和や適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんなが」日々の生活において、少しずつ実践する必要があります。立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。今号では、「第4次地球温暖化防止魚津市役所実行計画概要」をご紹介します。下記のURLまたは右記のQRコードからご覧ください。

<https://www.city.uozu.toyama.jp/attach/EDIT/049/049710.pdf>



たてくろ見どころ紹介コーナー

室堂平（立山エリア） — 溶岩がつくりだした台地 —

世界に誇れる山岳観光ルートである立山黒部アルペンルート。その最高地点である、標高 2450m の室堂平は、弥陀ヶ原火山の噴火によって流れた溶岩がつくり出した台地です。大迫力の立山連峰を間近に望める平坦な室堂平は、観光や登山の拠点となり、多くの人で賑わいます。溶岩台地の形成以後、室堂平から現在の地獄谷周辺で度々発生したマグマ水蒸気噴火により、現在のミクリガ池やミドリガ池などの火口湖群が形成されました。これらの池は、立山信仰において亡者が落ちる地獄の一つとされています。現在も地獄谷では、温泉の湧出や噴気活動などの火山活動が続いています。

室堂平は、立山黒部ジオパークのジオサイトに登録されています。

<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=27>



サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

松倉金山跡（片貝川・早月川エリア） — 加賀百万石を支えた黄金郷 —

松倉金山は、約 2000 万年前の火山活動によって形成された金鉱脈です。地中の熱水が循環する間に岩石中の微量な金が溶け出し、熱水とともに運搬されます。やがて熱水の温度が下がると、金が沈殿して金鉱脈が形成されるのです。

この金山は室町時代の応永年間（1394-1428）に発見され、15 世紀以降は椎名氏、江戸時代は前田氏が支配し、宝永年間（1704-1711）まで、約 300 年の間採掘されました。「越中七かね山」の一つであり、金山の最盛期（1596-1615）には鉱脈から 1 ヶ月で判金（大判）500 枚（82.5 kg に相当）を運上と記録されています。「加賀百万石」と言われた加賀藩の財源の要は「越中七かね山」でした。富山藩分藩のときにも加賀藩は金山を手放さずにいました。金の採掘で栄えた松倉地区は、最盛期には 1000 戸もの世帯がありましたが、今は杉の森林になっています。松倉金山跡は、立山黒部ジオパークのジオサイトに登録されています。

<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=12>



< 編集後記 >

立山黒部ジオパークが日本ジオパークに再認定されました。これは、2014 年にはじめて日本ジオパークとなってから 3 回目の再認定ですが、これまでの道のりは決して平坦ではありませんでした。はじめて再認定審査を経験した 2018 年には、活動内容が不十分とされ、条件付き再認定となってしまいました。そのため、2 年後の 2020 年に審査を受けて再認定され、今回、はじめての連続再認定となったのです。この 4 年間、会員の皆様をはじめ、たくさんの個人、団体の皆様のご理解とご協力をいただいたおかげと考えております。本当にありがとうございました。当協会は、全国でもめずらしい民間主導のジオパークです。全国のジオパークの模範となれるよう頑張っています。

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

